



三川っ子だより

No.3

巨大地震に備える

5月20日(月)は引き渡し訓練への御協力ありがとうございました。今年1月の能登半島地震発生から、間もなく5か月を経過しますが、水道や道路の復旧には時間を要していると聞きます。今後、巨大な地震が発生しないことを願うばかりですが、万が一に備えて、私たちもしっかり準備しておくことが必要です。御家庭でも「命を守る行動」について話題にしていいただければと思います。

先日の引き渡し訓練では「児童が在校している時に地震が発生した場合」を想定しました。学校の対応としては以下のように進めていきます。

児童在校時に大地震が発生したら・・・

- ① 児童、職員は命を守るための1次避難(安全な場所に身を隠すなど)
- ② 避難経路の安全を確認後2次避難(運動場に避難)し、人員の点呼・確認
- ③ コドモンとHPによる「児童の安否情報」の発信
- ④ 防災支部と連携し、地域の被害や道路状況の把握
- ⑤ コドモンとHPによる「引き渡し時間と場所」の発信
- ⑥ 「引き渡し準備」と3次避難(安全な校舎内に避難)
- ⑦ 保護者への「引き渡し」
- ⑧ コドモンとHPによる「学校の休校・再開」の情報発信



①～③は地震発生後、速やかに行います。⑦「引き渡し」が全員完了するまでには相当な時間を要すること(場合によっては、児童が一夜を学校で過ごすことも考えられます)、悪天候や炎天下でも安全に待機できる場所が必要であることを考慮し、今回初めて体育館での引き渡し訓練を行いました。しかし、巨大地震が発生した場合には、校舎内や体育館が安全とは限らず、どこで待機するかも課題となります。このような想定外の状況に応じて、子供たちの安全を最優先に、臨機応変に対応していきたいと思えます。



TOPICS トピックス



芸術鑑賞会を行いました。今年度は浜松に本部を置く「劇団たんぽぽ」による「ルドルフとイッパイアッテナ」を鑑賞。のら猫ルドルフの知恵と勇気と友情の物語。詳しくはお子様からお聞きください。

水泳の学習が始まるのを前に、三川小全教員が、袋井消防署で「救命救急法研修」を受講しました。いざという時に備え、心肺蘇生法やAEDの使用方法について実習を交えて学びました。